



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債利回り	WTI原油先物(ドル/バレル)	ヘンリーハブ天然ガス先物(ドル/百万BTU)
	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り			
2021年12月31日	1,138.58	7.95%	9,986.70	1.28%	28,625.44	2.44%	1.51%	75.21	3.73
2022年7月29日	1,409.33	7.48%	8,730.46	1.58%	25,114.35	3.26%	2.65%	98.62	8.23
2022年8月31日	1,465.40	7.36%	8,374.42	1.65%	23,636.59	3.51%	3.19%	89.55	9.13
前月比	4.0%	-0.12%	-4.1%	0.07%	-5.9%	0.25%	0.54%	-9.2%	10.9%
年初来	28.7%	-0.59%	-16.1%	0.37%	-17.4%	1.07%	1.68%	19.1%	144.7%
前年比	33.3%	-0.69%	-11.2%	0.32%	-9.8%	0.91%	1.88%	30.7%	108.5%

(出所)ブルームバーグ

※MLP:アレリアンMLP指数、米国株:S&P500指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

8月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、前月末に比べて上昇しました。

上旬は、高インフレと主要中銀の積極的な金融引き締めによる世界景気への影響が懸念される中、売りが優勢となる場面も見られましたが、米雇用統計が予想を上回るなど、足元で強まっていた米景気減速の懸念が後退し、エネルギー需要が拡大するとの期待から、MLP市場は底堅い動きとなりました。

中旬は、天然ガス価格が上昇基調となる中、MLP市場は概ね堅調となりました。

下旬に入ってから、MLP市場は堅調に推移しましたが、米連邦準備制度理事会(FRB)議長が講演で利上げを継続する姿勢を改めて示すと、下落に転じました。

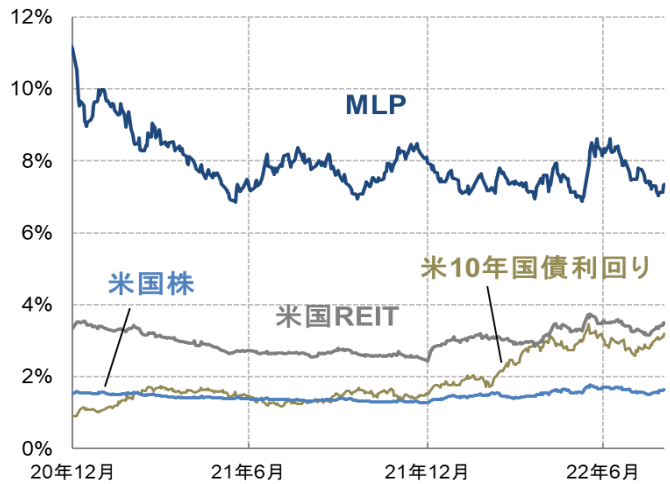
《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2020年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年12月31日~2022年8月31日

※MLP:アレリアンMLP指数、米国株:S&P500指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

主要な米国MLP・中流エネルギー企業の 2022年4-6月期の決算状況

- 8月は、多くの米国MLP・中流エネルギー企業が2022年4-6月期の決算を発表(右表参照)。主要なMLP・中流エネルギー企業の利益(調整後EBITDA)は、多くが市場予想を上回る。
- (8月11日)パイプライン輸送等の中流エネルギー事業を行うKinder Morgan社(KMI)はNorth American Natural Resources社(NANR)の買収を公表。買収額は1.35億米ドル。KMIはNANRの買収によって再生可能天然ガスの生産能力を引き上げる計画。
- (8月17日)天然ガスの輸送や貯蔵等を手掛けるDCP Midstream LPは親会社のPhillips 66社(PSX)より完全子会社の提案を受ける。
- (8月24日)米国のエネルギー輸送大手のEnergy Transfer LP(ET)はShell社との間で20年間の液化天然ガス(LNG)の売買契約を締結。ETはShell社に対して年間210万トンのLNGを供給する計画。

銘柄名	公表日	調整後 EBITDA (億米ドル)	前年比	市場予想 対比
Williams社	8月1日	15.0	+13.6%	概ね一致
MPLX LP	8月2日	14.6	+6.0%	↗
Enterprise Products Partners LP	8月3日	24.2	+20.4%	↗
Western Midstream Partners LP	8月3日	5.5	+11.6%	↗
Energy Transfer LP	8月3日	32.3	+23.4%	↗
Plains All American Pipeline LP	8月3日	6.2	+7.0%	↗
Cheniere Energy Partners LP	8月4日	9.8	+41.6%	↘
Targa Resources社	8月4日	6.7	+44.9%	↘
ONEOK社	8月8日	8.9	+10.5%	↗

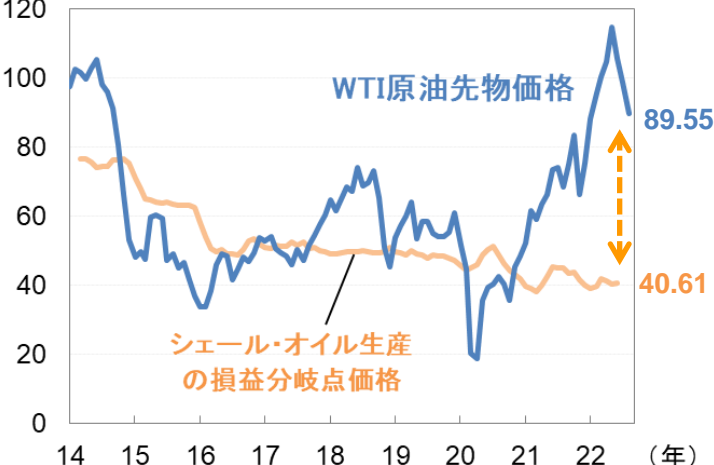
(出所)ファクトセット、各種報道等 ※2022年8月末時点

《米国MLPを見直す動きが顕著に》

- 2022年8月末時点のWTI原油先物価格は、1バレル=89.55米ドルと足元ではボラティリティが高い展開となっています。一方で、シェール・オイル生産の損益分岐点価格は1バレル=40米ドル近辺にあり、WTI原油先物価格と比較すると大きく下回っており、米国の原油採掘企業の採算性は高い水準にあります。
- 高値圏で推移してきた原油価格や堅調な業績等を背景に、米国MLP市場の資金フローは改善傾向にあります。足元では株式市場の不透明感が高まる中、相場場の乱高下の影響を回避するため、相対的に高い利回りを提供する投資対象が選好されていることも資金流入の要因の一つと考えられます。

原油価格とシェール・オイルの生産コスト

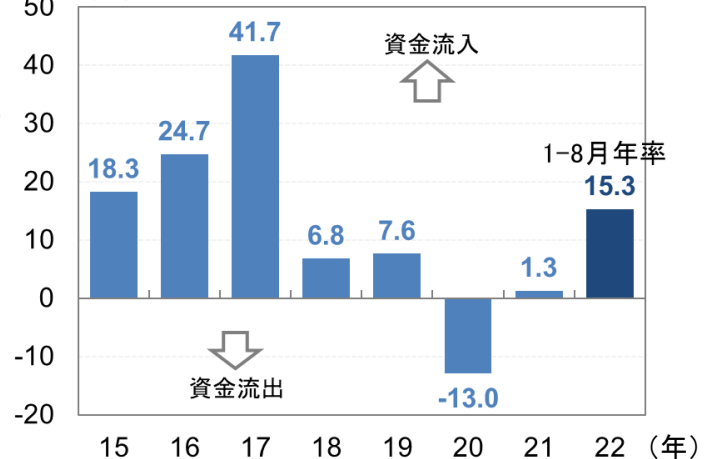
(米ドル/バレル)



(出所)ブルームバーグ、BTU ANALYTICS (期間)2014年1月~2021年8月(損益分岐点価格は6月) ※損益分岐点価格は主要シェール生産地域の中央値(3ヵ月移動平均)。

MLPを投資対象とするETFの資金フロー

(億米ドル)



(出所)ブルームバーグ (期間)2015年~2022年(1-8月)

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。